# 2019 年度実施概要

学校名

古平町立古平中学校

採択活動名

地域海洋科　「地域産業と海の関わりを知る～地域の現状とこれからの海洋について～」

取り組みの概要

　海洋教育では、海洋環境の保全を図りつつ国際的な理解に立った平和的かつ持続可能な海洋の開発と利用を可能にする知識や技能、思考力、判断力、表現力を有する人材の育成を図ることが求められている。
　そこで本校では今年度より、「海洋教育パイオニアスクールプログラム」実践校として、海洋に関わる様々な学習をカリキュラムに取り入れてきた。
　地域海洋科を設置し、３か年計画で「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の取組みを進めていくが、１年目にあたる今年度は、①現在の教育課程における海洋教育との関連性を整理、②関係機関との連携および地域教材化、③生徒の海洋に関する意識の把握、④次年度以降の単元構成の検討を柱として取組んだ。

　具体的な取組として、これまで取組んでいる地域産業についての学習から海と結びつけて学習させること、海浜清掃や漂着物調査を通じて、多面的多角的に考えさせることを学習の柱として考えた。また、既存の教科等の内容をより深めるため、社会科・理科を中心に海洋に関する授業づくりや五感を使った音楽科で実践に取組んだ。

　それらの活動を通して、「海のまち古平を愛し、将来を切り拓く人材の資質・能力の伸長を図る」を地域海洋科の目標とし、郷土の良さについて再認識するとともに、課題設定から課題解決の中で、気づき・考え・行動できる生徒の育成を図っていきたい。

活動中の写真

デジタルデータにて 2～3 枚の添付をお願いします。

実施単元名　※実施した単元の数に応じて記載してください

| |
|---|
| 1. 漁業を知る～漁協青年部との連携 |
| 2. 海浜清掃～幼・小・中の連携 |
| 3. 全校創作～学校祭での取組 |
| 4. 移動理科教室～道立理科教育センターとの連携 |
| 5. 栽培漁業を学ぶ～北海道水産高等学校との連携 |
| 6. 漂着物調べ～北海道博物館訪問 |